

平成29年度 社会福祉法人慈照会事業計画

通常規模型通所介護事業
認知症対応型通所介護事業
短期入所生活介護事業
訪問介護事業
居宅介護支援事業
介護老人福祉施設事業
ケアハウス事業

平成29年度社会福祉法人慈照会事業計画

1. 基本方針

わが国経済は、雇用・所得環境の改善の続く中で、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復傾向がみられる。一方で、米国新政権への移行、英国EU離脱問題、アジア新興国の景気減速などによる海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響等により、先行きは不透明な状況にある。

世の中は、急速な少子高齢化を背景に、家族、企業、地域の支えが弱くなり、誰かを支える余裕がない社会とされている。そんな中、困っている人たちを支援する事業をNPOが立ち上げている。かつての社会福祉の担い手は、戦後社会全体が困窮した状況の中で私財を投げ打ち、社会に溢れていた困っている人たちのために真っ先に立ち上がった。今社会から、社会福祉法人は何をしているのかを強く問われている。社会福祉法人制度の改革の中では、経営組織のガバナンスの強化、透明性の確保、財務規律の強化、地域における公益的な取り組みを実施する責務への対応が明確に示されている。この2、3年が、社会福祉法人にとって大きな変革の時期である。あらゆる方面への発信、地域の方々との接点を通じて、地域の連携の作り手となり、世の中に求められているものを国の制度に先んじてつくっていく気概を持たなければならない。

当法人は事業開設20周年を迎えるに当たり、記念事業等を企画、実施する。また、引き続きさまざまな視点で働きやすい職場づくりを進め、人材確保と定着に結び付ける。入居者、職場環境の改善のため、備品の更新、設備修繕を実施する。そして、課題であった災害リスクへの体制を整備する。平成30年度の介護報酬改定にも備えたい。以下を重点目標とする。

※重点目標

(1) 働きやすい職場づくりの推進と多様な人材の確保・定着

介護職員処遇改善加算の拡充、人事評価による昇格、賞与への反映、求められる職務行動基準の浸透、ホームページによる情報発信、メンタルヘルス対策、施設内保育所の検討、多様な働き方と給与制度の検討、福祉用具の使用推進、過重労働対策の実施、施設内情報管理の徹底、福利厚生の実施、各種資格取得促進、記録の電子化の検討

(2) キャリアパスに対応した中長期的な職員体制の構築

人事制度の定着と活用、次世代リーダー育成、キャリアアップと施設内研修・施設外研修の体系化、事例発表への取り組み、研修講師派遣、OJTの体制整備、初任者・実務者研修受講促進、県認知症基礎研修・実務者研修受講促進

(3) 地域に求められる支援・交流・貢献の推進

地域支援新事業の検討、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会・東近江介護サービス事業者協議会・滋賀県老人福祉施設協議会役員活動、縁えにし創造実践センターへの参画、東近江市新しい総合事業への参画、地域密着型介護事業運営推進会議の実施、地域行事への参加と実施、三方よし研究会主催初任者研修への協力

2. 事業別重点目標

【通所規模型通所介護事業】（定員：30名）

69,000,000円を収入目標とする

重点目標：計画的なリハビリを確立し、ご利用者の生活の維持・向上を図る

個々のリハビリメニューの作成、体操の方法・内容等の見直し、リハビリ機器の導入により、ご利用者の生活の維持・向上を目指す。

【認知症対応型通所介護事業】（定員：12名）

利用を促進し8,200,000円を収入目標とする。

重点目標：ご利用者一人ひとりに合ったサービスの充実

タイムスケジュールの作成、認知症ケアのスキルアップによりサービスの充実を目指す。

【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

83,000,000円を収入目標とする

重点目標：「利用者へのやさしさ」を大切に明るく思いやりのある介護を目指す

私たちは、1. 思いやりのある心で対応します、2. 笑顔で対応します、3. チームワークを大切にします。

【訪問介護事業】

31,500,000円を収入目標とする

重点目標：ご利用者の人生の困難な時期に関わる意識を持ちサービスの提供

その人らしい生活を安心安全に過ごしてもらい、常にきめ細かく、心からのサービスに徹する。ご利用者、ご家族に配慮した、穏やかなサービスを提供する。

【居宅介護支援事業】

上半期にケアマネージャを確保し11,000,000円を収入目標とする

重点目標：地域生活から看取りまで本人の自立支援に意識を置いた個別プラン作りへ

地域での生活から看取りまでの各生活のステージに応じて、客観的根拠と本人の物語を織り交ぜた個別プランを作っていく。

【介護老人福祉施設事業】（定員：54名）

197,000,000円を収入目標とする

重点目標：職員の意識、技術の向上を図り、入居者の生活の質の向上を目指す

入居者の皆様の生活の質の向上を目標に、様々な方法を検討、実践し、職員の知識、技術の向上に取り組む。

【ケアハウス事業】（定員：15名）

夫婦部屋の待機者確保により満床にする

重点目標：広報活動の工夫により待機者を確保し、定員の満床を目指す

相談機能の向上（職員のスキルアップ、定期的なアンケート等）や行事の充実、より良い住環境の追求、認知症予防や身体機能維持にも力を注ぎ、生き活きとした生活を送ってもらえるように努める。

3. 年間行事予定等

上半期		下半期	
4月	入社式 職員全体会議 新人職員研修（4日間） 前年度打ち上げ会	10月	カルナハウス敬老式典 入居者健康診断 職員健康診断・ストレスチェック 職員研修会⑥ 第2回夜間想定避難訓練 上半期打ち上げ会
5月	第1回総合避難訓練 職員研修会① 理事会（事業報告・決算等）	11月	職員研修会⑦ 理事（上半期報告、補正予算）
6月	職員研修会② 第1回夜間想定避難訓練 評議員会（事業報告・決算、理事・ 監事の選任） 理事会（理事長の選任）	12月	法人忘年会
7月	職員研修会③	1月	年賀式
8月	カルナ納涼夏祭り 夏祭りお疲れ様会	2月	
9月	職員研修会④、⑤ 建部地区あったかネット訓練 第2回総合避難訓練	3月	職員研修会⑧ 夜勤者健康診断 理事会（事業計画・予算）

※施設内会議

経営会議（月1回） スタッフ会議（週1回） 給食会議（月1回）

デイ会議（月1回） ショートステイ会議（月1回） ヘルパー会議（月1回）

居宅介護支援事業所会議（月1回） 特養会議（月1回） ケアハウス会議（月1回）

事務会議（月1回）

※委員会活動等

研修教育体制プロジェクトチーム、事故・苦情防止委員会、環境整備委員会